

第3回 魚津市立西部中学校運営協議会 記録

令和8年2月25日（水）14:00

魚津市立西部中学校

1 開会あいさつ

2 議題

(1) 学校運営の現状について

① 令和7年度学校評価アンケート結果について

教員の自己評価や生徒・保護者アンケートの結果を踏まえ、各校務分掌において反省と次年度の改善案を協議した。

【質疑・意見交換】

- ・ 食育について、生徒が食べにくいものを無理に食べさせることは難しいため、家庭教育の重要性も大きい。
- ・ チーム担任制のメリットについて、今後も説明の機会を設けてほしい。
- ・ チーム担任制について、西部中学校の取組は、県内でも先進的である。1人の教員だけで諸課題に向き合うのは困難。複数の教員が多様な視点で関わる意義は大きい。

② 部活動地域展開について

- ・ 近年、部活動として大会に出場するのではなく、クラブチームとして出場するケースが増えている。
- ・ 改革実行期間は前期（R8～10）と後期（R11～13）の計6年間で、休日の部活動地域展開を100%とすることを目標とする。平日の地域展開も広まっている。
- ・ 地域クラブ等の活動には、家庭の負担も大きくなるので、来年度よりPTA会費等を減額し、保護者の負担軽減を図る。

【質疑・意見交換】

- ・ 平日の地域クラブの活動が18～20時となるため、生徒の生活習慣への影響が懸念される。
- ・ 放課後、生徒が直接クラブに向かうため、夜間の連絡手段としてスマホが必要となる場面が増える。学校へのスマホの持ち込みについては、生徒や保護者のニーズ・実情を踏まえて再検討中である。

③ 創立80周年記念行事について

④ その他

(2) 今後の学校運営について

① 令和8年度学校運営方針について

YKK創業者・吉田忠雄氏が大切にした「善の巡環」の考え方を基盤に、教育活動に取り組む。

「善の巡環」とは、端的には、「善いことの輪を広げよう」という考え方である。

② その他

- ・ 次年度の学校運営協議会について事務連絡

【質疑・意見交換】

- ・ スマホや部活動など、時代が大きく変化している。少子化への対応や地域と中学生とのつながりを強める必要がある。
- ・ 中学生との日常的な会話を通して、地域との関わりを深めたい。
- ・ かつては「教育は学校、生活は家庭」と分かれていたが、現在は地域・保護者・学校が連携し「チーム」で取り組む考え方が主流である。地区運動会でも中学生の参加が少なくなっており、「お互いさま・おかげさま」の精神を子どもたちに伝える必要がある。
- ・ SNSを利用した暴力動画の拡散が問題となっている。将来的により巧妙なトラブルが増える可能性があり、「情けない行動」ではなく「カッコいい行動」ができるよう、「お互いさま・おかげさま」の価値観を広めていきたい。

3 閉会のあいさつ